

① 椀貸塚古墳

しこくさいだい きぼ よこあなしきせきしつ えんぶん
四国最大規模の横穴式石室のある円墳

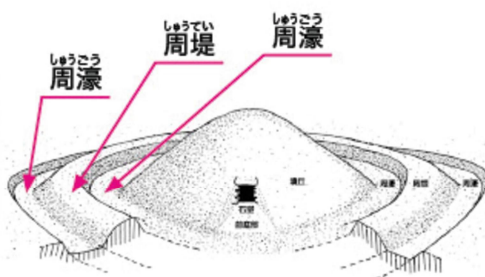
Q1 椀貸塚古墳とは、どんな古墳なの？

A1

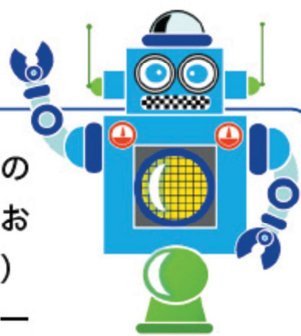
6世紀の終わりごろにつくられた直径37.2m、高さ9mの円墳です。古墳の周りには、二重のほり（周濠）をめぐらしており、また、外ほりと内ほりの間には、土を盛って低い堤（周堤）を築いています。古墳全体の大きさは、直径70mにもなり、一部は大野原小学校の校庭にまでおよんでいます。



現在の椀貸塚古墳



椀貸塚古墳の復元イメージ図



Q2 椀貸塚古墳の石室は、どうなっているの？

A2

石室は、全長約14.8mで最大高は約3.9mもあります。この古墳の特徴は、羨道（通路）の奥が玄室（後室）と前室の二つに分かれる形（複室構造）で、かんす塚古墳の石室の形をひきついでいます。



椀貸塚古墳の玄室の内部

さらに、棺をおく玄室は、長さ6.8m、幅3.6m、高さ3.9mであり、床面積24.6㎡、空間容積72.7㎡という巨大な大きさです。



椀貸塚古墳の玄室の入口

これは、四国で最大規模の横穴式石室で、6世紀代における我が国トップクラスの大きさです。

